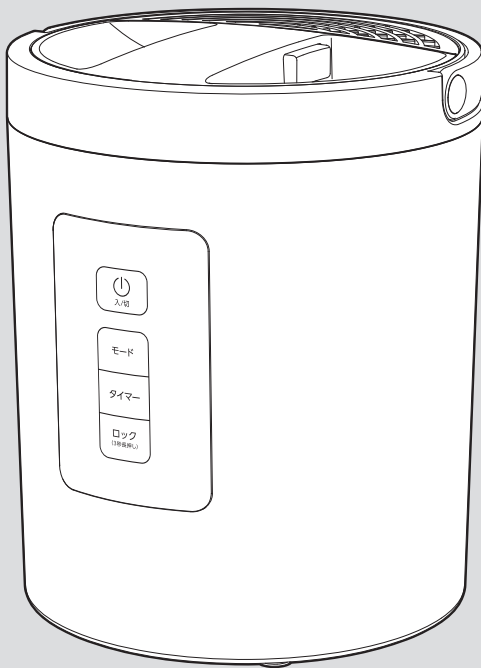


THREEUP

スチーム加湿器 スチームポット

ST-T2271

取扱説明書



本製品は日本国内専用です。

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にご使用ください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してご利用ください。

目次

はじめに

- 安全上のご注意…………… 1～3
- パッケージ内容…………… 3
- 仕様…………… 3
- 各部のなまえ…………… 4

ご使用前に

- 知っておいていただきたいこと… 5
- 設置について…………… 5
- 水タンクに水を入れる………… 6

ご使用方法

- 運転する…………… 7
- 停止する…………… 7
- 運転モードを切り替える…… 8
- オフタイマーを設定する…… 8
- チャイルドロックを設定する… 9
- 水タンクの水がなくなると…… 9

点検・修理

- お手入れと保管方法………… 10～12
- コンセントの点検…………… 13
- 故障かな?と思ったら…… 14
- 保証・サービス…………… 裏表紙

はじめに

安全上のご注意

火災、感電、ケガなどの事故を未然に防ぐため、ご使用前によくお読みのうえ、正しく使用してください。
また、各部に破損や亀裂、変形などの損傷がないことをよく点検してください。

■ 誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があるもの。	 注意	誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。
--	-----------------------------------	---	---------------------------------------

■ 図記号の意味は次のとおりです。

   	この図記号は「禁止」されている内容です。	 	この図記号は必ずお守りいただく「指示」内容です。
--	----------------------	---	--------------------------

警告



分解禁止

分解や修理、改造をしないでください。
火災、感電、ケガの原因になります。
修理技術者以外の人は、分解や修理をしないでください。修理が必要な場合は、スリーアップカスタマーサポートまでお問い合わせください。



プラグを抜く

長時間で使用にならない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化による火災、感電の原因になります。



水ぬれ禁止

浴室などの湿気が多い場所、水のかかる場所では使用しないでください。
本体を水につけたり、水をかけたりして丸洗いはしないでください。
感電、火災、故障の原因になります。



禁止

お子様だけで使わせしないでください。
感電やケガ、事故の原因になります。

屋外や直射日光の当たる場所で使用しないでください。
絶縁劣化による感電、漏電、火災、故障の原因になります。

高温になる場所や湿気やホコリの多い場所に放置、保管しないでください。
動作異常のおそれがあり発煙、発火の原因になります。

火気に近づけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
本体の変形によるショート、発火の原因になります。

吹出口やダクトから給水しないでください。
故障や感電の原因になります。



禁止

吹出口や通気口にピンや針金などの異物を入れたり、ふさいだりしないでください。
・ケガや事故の原因になります。
・過熱による本体の変形、発火の原因になります。

スチームを故意に吸入しないでください。
健康を害する原因になります。

引火性のもの（殺虫剤、ヘアスプレー、ガソリン、ベンジン、シンナー）の近くで使用しないでください。
また、本体に向けて吹きかけないでください。
爆発や火災の原因になります。

マグネットプラグにクリップなどの金属を付着させないでください。
感電、故障の原因になります。



必ず守る

電源は必ず家庭用100V電源で使用してください。
異なる電圧での使用は故障、火災の原因になります。

電源プラグにホコリが付いている場合は、きれいに拭き取ってください。
ホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

フタは必ず取り付けて使用してください。
加熱された水が周囲に飛び散り、やけどや床濡れ、故障の原因になります。

包装用のポリ袋はお子様の手の届かない場所に保管してください。
誤ってかぶると窒息による死亡の原因になります。

警告

電源コード、電源プラグ、マグネットプラグを取り扱うときは、次のことを守ってください。

- 乱暴に扱ったり、重いものをのせたり、機器に挟み込んだり、損傷したものは使用しないでください。
- 濡れた手で電源プラグとマグネットプラグの抜き差しをしないでください。
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
- 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- マグネットプラグはプラグ受けに確実に取り付けてください。
- マグネットプラグを取り外すときは、コードを引っ張らず、マグネットプラグを持って取り外してください。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。
- 破損した場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご相談ください。



必ず守る



必ず守る

異常時や故障時は、直ちに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。

《異常/故障例》

- 電源を入れても運転しないときがある。
- 電源コード、電源プラグが触ることができないほど熱い。
- 焦げ臭いにおいがする。
- 運転中に異音がする。

その他異常と思われたときは、使用せずにスリーアップカスタマーサポートまでお問い合わせください。

運転中または運転停止直後は、次の箇所は高温になっていますので、冷めるまで触らないでください。

やけどの原因になります。

- スチームや吹出口の周囲
- ダクト
- ヒーター部周囲
- 水タンクと本体（水そう部）の水

フタや吹出口カバー、ダクトを取り外したまま運転しないでください。

また、運転中または運転停止直後にフタを開けないでください。

やけどや故障の原因になります。



接触禁止

注意

本機は家庭用です。業務用として使用しないでください。

故障の原因になります。

家具や壁、カーテンにスチームが直接当たる場所には設置しないでください。

シミや汚れの原因になります。

テレビやパソコン、オーディオ機器などの近くに設置しないでください。

結露による故障や雑音が入る原因になります。

高所や足元が不安定な場所では使用しないでください。

水平で安定している場所に設置してください。斜面など不安定な場所に設置すると、転倒により水が漏れて周囲を濡らす原因になります。

また、高所から落下すると、ケガや破損の原因になります。



禁止



禁止

製品の上に物を置いたり、踏み台にしたり、腰掛けたりしないでください。

転倒、破損によるケガや事故の原因になります。

水タンクと本体（水そう部）の水が凍結するような場所では使用しないでください。

故障の原因になります。

薬品などの周囲では使用しないでください。

本体のプラスチック部品が劣化し、破損するおそれがあります。

湿度の高い場所（75%以上）では使用しないでください。

家具や壁を湿らせ、雑菌やカビが繁殖し異臭や故障の原因になります。

はじめに

⚠ 注意

運転中は移動させたり、傾けたりしないでください。

水漏れや故障の原因になります。移動する際は運転を停止して電源プラグをコンセントから抜いてください。

常温の水道水以外は使用しないでください。

- ・浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などはカビや雑菌が繁殖しやすくなります。
- ・40℃以上のお湯や化学薬品、汚れた水、芳香剤、洗剤、アロマオイルを入れた水などは、製品の変形、故障の原因になります。

お手入れには台所用中性洗剤とクエン酸溶液以外は使用しないでください。

塩素系/アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。



禁止



必ず守る

本機の性能を維持するため、定期的にお手入れをしてください。

「お手入れと保管方法」に従ってお手入れをしてください。汚れがひどくなると、発熱や故障の原因になります。

長時間使用しない場合や、お手入れ、保管の際は、水タンクと本体(水そう部)に残った水を捨ててください。

- ・水タンクと本体(水そう部)に水が入ったままでお手入れをすると、水が漏れて周囲を濡らす原因になります。
- ・水タンクと本体(水そう部)に水が入ったまま保管すると、雑菌やカビが繁殖し異臭の原因になります。

パッケージ内容

梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

部 品 名	個数	部 品 名	個数
本体	1	マグネット式電源コード	1
取扱説明書(保証書付き)本書	1	—	—

仕様

本体サイズ	直径22×高さ27cm	本体重量	約1.8 kg
材質	PP、PE	電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	強/260W、弱/140W	タンク容量	約2.0 L
加湿量	強:300 mL/h、弱:160 mL/h	加湿調節	2段階(強・弱)
連続運転時間	約6時間～約11時間	オフタイマー設定	1・2・4時間
加湿方式	スチーム式	適用床面積(目安)	8畳(洋室、プレハブ)、5畳(和室、木造)
機能	チャイルドロック	安全装置	空焚き防止機能、温度ヒューズ、サーモスタット
コード長	約1.5 m	—	—

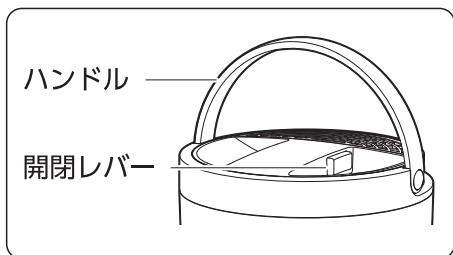
※ 商品は改良の為、仕様・外観など予告なく変更する場合があります。

※ 加湿量や適用床面積(目安)は、使用環境により異なります。

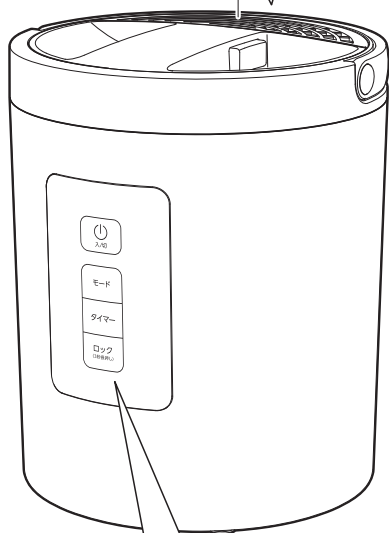
各部のなまえ

■ 本体

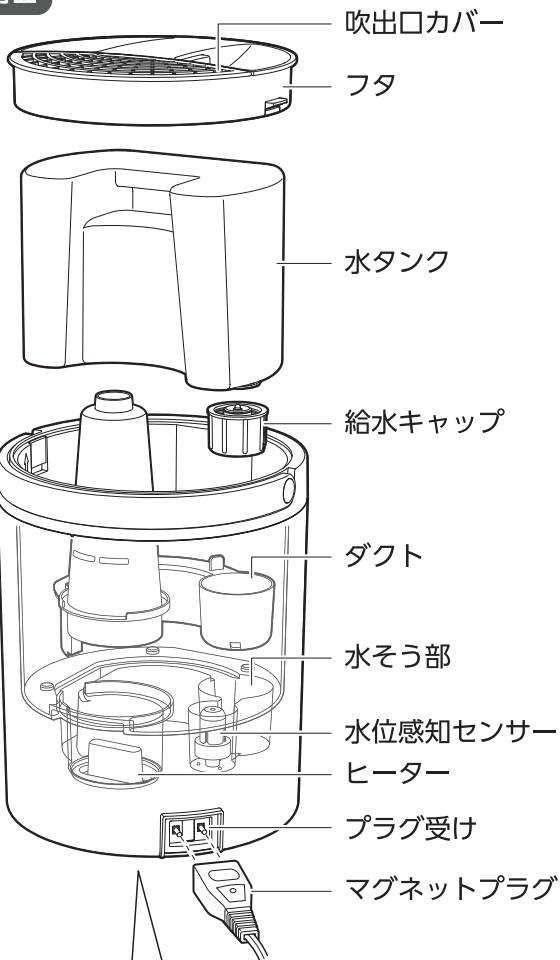
正面



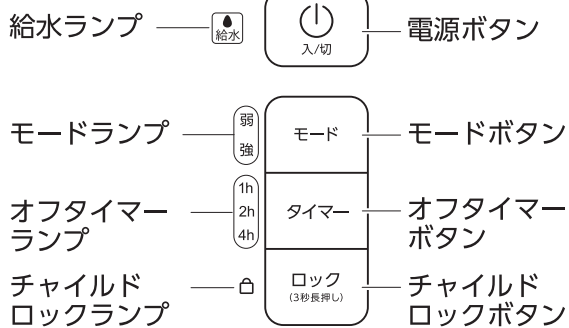
吹出口



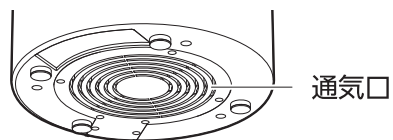
背面



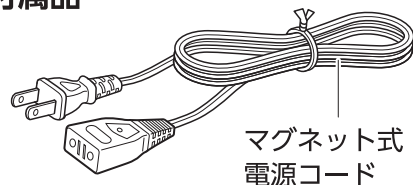
操作部



底面



■ 付属品



ご使用の前に

知っておいていただきたいこと

■ 加湿について

本体（水そう部）のヒーターで水を沸騰させて発生したスチームで加湿します。
（暖房器具のように部屋の温度を温める機能ではありません。）

スチーム及び吹出口の周囲や、ヒーター部周囲及び水は高温になっていますので、触らないでください。

■ 水漏れについて

床に本体や水タンクを落下させた場合に亀裂が入り、水漏れを起こす場合がありますので、取り扱いにはご注意ください。

■ ヒーター部周囲の汚れ（スケール）について

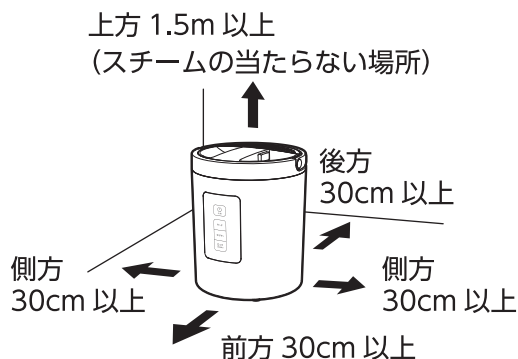
水を沸騰させることで水道水に含まれているミネラル分やカルキ、鉱物成分などの白色の不純物（白い塊）がヒーター部表面に付着し、堆積します。

放置すると加湿性能の低下や故障の原因になりますので、必ず定期的にお手入れをしてください。

設置について

■ 設置条件

- 製品の周囲は右図で示した距離を空けてください。
- 斜面や毛足の長い敷物の上など、不安定な場所には設置しないでください。



■ 安全装置

温度が上昇しすぎるとサーモスタットが作動し、自動的に運転が停止します。

少し時間をおいて温度が下がれば、運転を再開できます。

異常な温度上昇を感知した場合は、温度ヒューズが作動し、回路を遮断する場合があります。

その場合は温度が下がっても運転は再開できません。

水タンクに水を入れる

警告



必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。
水タンクに水を入れる際は、電源プラグに水がかからないように注意してください。
感電するおそれがあります。

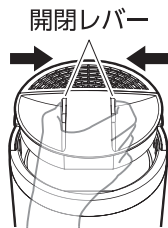
注意



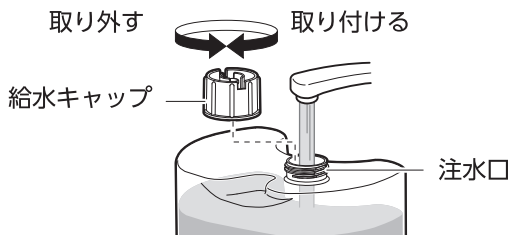
次のような水は水タンクに入れないでください。
・浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などはカビや雑菌が繁殖しやすくなります。
・40℃以上のお湯や化学薬品、汚れた水、芳香剤、洗剤、アロマオイル、エッセンシャルオイルを入れた水などは、製品の変形、故障の原因になります。

■ 水の入れかた

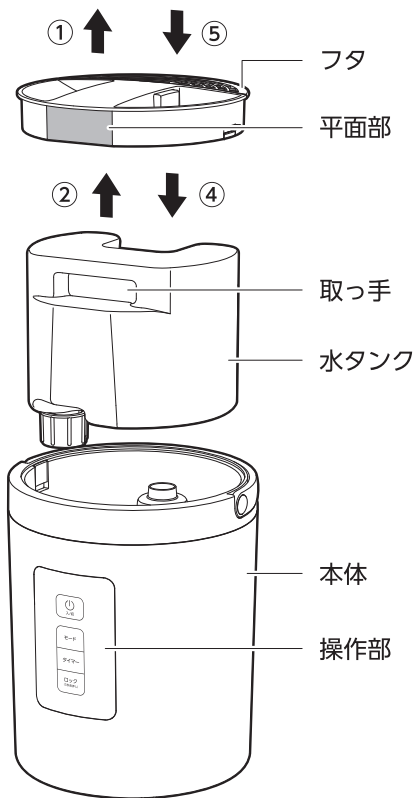
- ① フタを本体から取り外します。
開閉レバーを押しながら持ち上げてください。



- ② 水タンクを本体から取り外します。
持ち手を持って持ち上げてください。
- ③ 水タンクに常温の水道水を入れます。
・給水キャップを反時計回りに回して取り外してください。
注水口から水道水を入れたあと、給水キャップを時計回りにしっかりと回して取り付けてください。
・洗面所や浴室などで給水してください。



- ④ 水タンクを本体に取り付けます。
- ⑤ フタを本体に取り付けます。
フタの平面部を操作部側に向け、開閉レバーを押しながら本体にしっかりと押し込んだあと、開閉レバーを離してください。

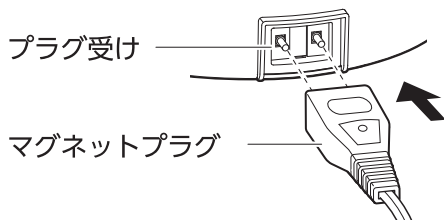


ご使用方法

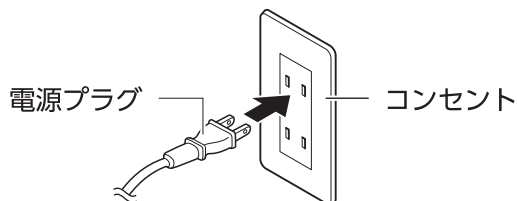
運転する

■ 運転のはじめかた

- ① 本体のプラグ受けにマグネットプラグをまっすぐ取り付けます。



- ② 電源プラグをコンセントに差し込みます。“ピッピッ”と電子音が鳴り、待機状態となります。



- ③ 『電源』ボタンを押すと『モード』ランプ「弱」が点灯し、約3～6分後に高温のスチームが出始めます。

※ボタン操作時は“ピッ”と電子音が鳴ります。

操作部



弱

モード

メモ

- 運転開始後に“カチッ”と内部スイッチの動作音が鳴ることがあります。異常や故障ではありません。
- スチームが出始めるまでの所要時間は使用環境や水温により異なります。
- スチームは部屋の温度や湿度によって見えにくい場合があります。
- 運転中は本体の周辺が少し温かくなりますが、異常や故障ではありません。

停止する

■ 運転の止めかた

運転中に『電源』ボタンを押します。

“ピーッ”と電子音が鳴り、全てのランプが消灯して運転を停止します。

運転停止後は、余熱によりしばらくスチームが出ます。

メモリー機能

- 一度運転を停止させて再びご使用になるときは、停止時の設定で運転を再開します。(オフタイマー設定は除く)
- 電源プラグを差し直した場合はリセットされます。

⚠ 注意



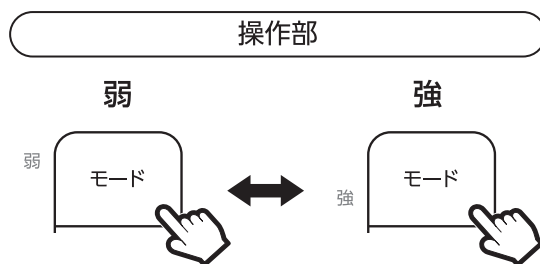
必ず守る

- 長時間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、水タンクと本体（水そう部）の水を捨ててください。
- 電源プラグを抜く場合は、必ず先に『電源』ボタンを押してから電源プラグを抜いてください。運転中に電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

運転モードを切り替える

■ 運転モードの切り替えかた

運転中に『モード』ボタンを押します。
『モード』ボタンを押すたびに運転モードが切り替わり、設定にあわせて点灯する『モード』ランプも切り替わります。



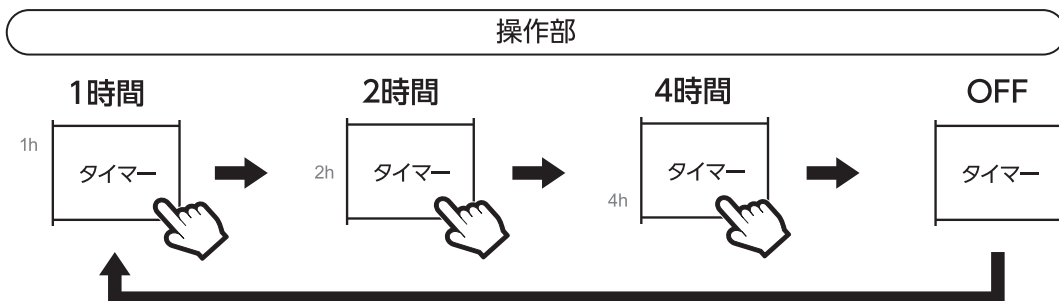
オフタイマーを設定する

■ オフタイマーの設定のしかた

- 運転中に『オフタイマー』ボタンを押します。
『オフタイマー』ボタンを押すたびに設定時間が切り替わり、設定にあわせて点灯する『オフタイマー』ランプも切り替わります。
- 1時間、2時間、4時間で設定が可能です。設定時間経過後、自動停止します。

■ オフタイマーの解除のしかた

『オフタイマー』ランプが消灯するまで、『オフタイマー』ボタンを繰り返し押ししてください。



ご使用方法

チャイルドロックを設定する

■ チャイルドロックの設定のしかた

運転中または待機中に『チャイルドロック』ボタンを約3秒間長押しします。

“ピッ”と電子音が鳴って『チャイルドロック』ランプが点灯し、チャイルドロックが設定され、ボタン操作ができなくなります。

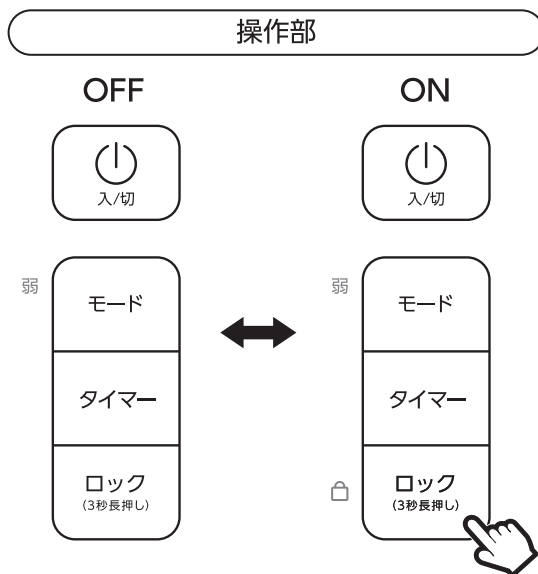
運転中にチャイルドロックを設定した場合、『電源』ボタンを押すと運転停止しますが、もう一度『電源』ボタンを押しても運転を再開しません。

運転を再開する場合は、チャイルドロックの解除後に『電源』ボタンを押してください。

■ チャイルドロックの解除のしかた

『チャイルドロック』ボタンを約3秒間長押しします。

“ピーッ”と電子音が鳴って『チャイルドロック』ランプが消灯し、チャイルドロックが解除されます。

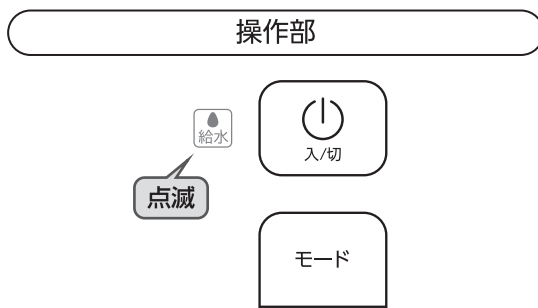


水タンクの水がなくなると

■ 給水のお知らせ

- 水タンクの水がなくなると、“ピーッピーッピーッ…”と電子音が5回鳴って『給水』ランプが点滅し、自動で運転を停止します。
- 引き続きご使用になる場合は、水タンクに新しい水道水を入れてください。

給水すると『給水』ランプの点滅は消灯します。運転を再開する場合は、『給水』ランプの消灯後に『電源』ボタンを押してください。



警告



必ず守る

給水時は必ず電源プラグをコンセントから、マグネットプラグをプラグ受けから抜いてください。プラグ受けに水がかからないように注意してください。感電するおそれがあります。

お手入れと保管方法

警告



必ず守る

- お手入れや点検、保管の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。プラグ受けに水がかからないように注意してください。感電やケガの原因になります。
- お手入れや点検、保管の際は、本体が十分に冷めてから行ってください。運転停止直後は本体（水そう部）やダクト、水タンクなどが高温になっているため、すぐに触れるとやけどの原因になります。

注意



必ず守る

長期間使用しない場合や、お手入れ、保管の際は、水タンクと本体（水そう部）に残った水を捨ててください。

- ・水タンクと本体（水そう部）に水が入ったままでお手入れをすると、水が漏れて周囲を濡らす原因になります。
- ・水タンクと本体（水そう部）に水が入ったまま保管すると、雑菌やカビが繁殖し異臭の原因になります。

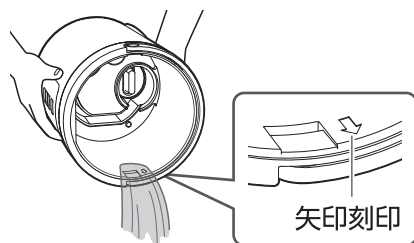
各部のお手入れは週に2回以上行ってください。

■ 水の捨てかた

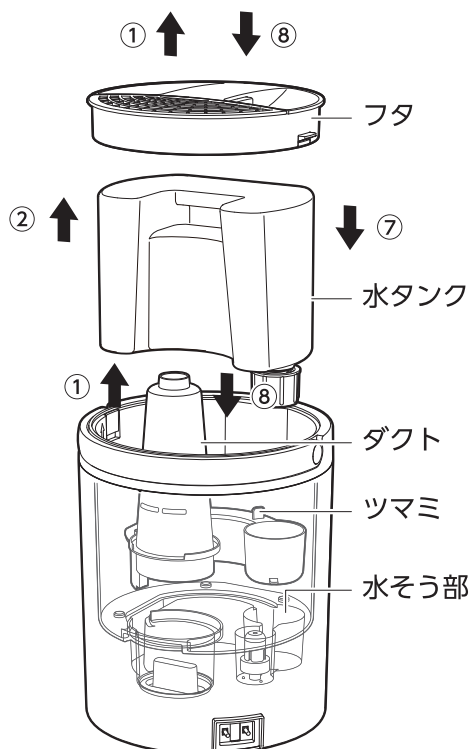
- ① フタを取り外します。
- ② 本体から水タンクを取り外します。
- ③ 水タンクに残った水を捨てます。
- ④ 本体からダクトを取り外します。
ダクトのつまみを持って取り外してください。
- ⑤ 本体（水そう部）に残った水を捨てます。

注意

水を捨てる際は、矢印刻印を下に向けて捨ててください。



- ⑥ ダクトカバーを本体に取り付けます。
ダクトのつまみを持って取り付けてください。
- ⑦ 水タンクを本体に取り付けます。
- ⑧ フタを本体に取り付けます。



■ 本体のお手入れ

柔らかい布で乾拭きしてお手入れしてください。
汚れが落ちにくいときは、薄めた台所用中性洗剤に浸した柔らかい布で汚れを拭いたあと、洗剤が残らないように固くしぼった柔らかい布で拭き取ってください。
仕上げに柔らかい布で乾拭きしてください。

- お手入れには塩素系・アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。
- お手入れのあとは水分をよく拭き取り、陰干しをして十分に乾かしてください。

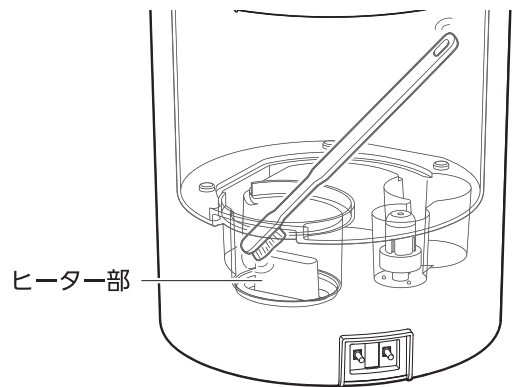


● 本体 (水そう部) のお手入れ

歯ブラシなどの柔らかいものでこすって汚れを落としてください。

- 金属製のブラシなどでこすると、傷が付き、故障の原因となりますので、使用しないでください。
- ヒーター部のお手入れ時はダクトを取り外してください。
- ヒーター部の汚れを取り除く際は、衝撃を与えないよう丁寧に取り除いてください。

注意 運転停止直後はヒーター部が高温になっているため、冷めるまで直接触れないでください。



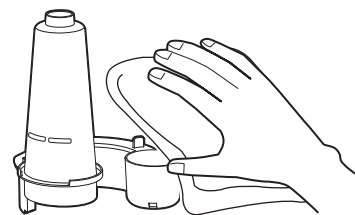
◎ ヒーター部の汚れがひどい場合は、クエン酸溶液を使用してお手入れをしてください。

クエン酸溶液を使用したお手入れのしかた

- ① 水タンクを本体から取り外します。
- ② 1Lのぬるま湯に5gのクエン酸を溶かし、水タンクに入れます。
- ③ 水タンクを本体に取り付けます。
- ④ 約2時間放置します。
- ⑤ 水タンクを本体から取り外します。
- ⑥ 水タンクと本体 (水そう部) の水を捨て、通常のお手入れをします。

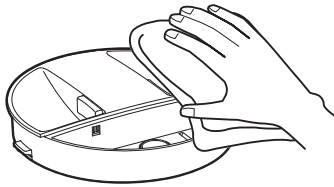
■ ダクトのお手入れ

本体と同様のお手入れをしてください。



■ フタと吹出口カバーのお手入れ

- フタは吹出口カバーを取り外して、本体と同様のお手入れをしてください。
- 吹出口カバーは水洗いしてください。

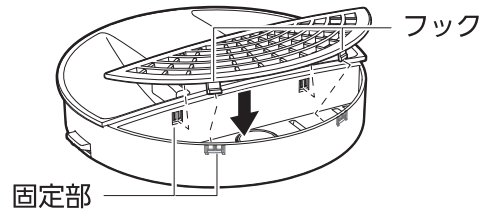
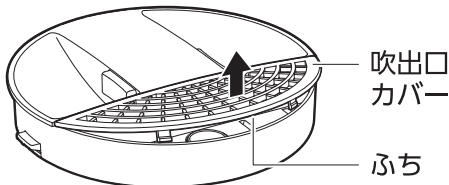


● 吹出口カバーの取り外しかた

吹出口カバーのふちを持ち上げて、フタから取り外してください。

● 吹出口カバーの取り付けかた

先に直線側のフックを固定部に引っ掛けてから押し込んでください。



■ 水タンクのお手入れ

- 外側は本体外側の同様のお手入れをしてください。
- 内側は水タンクに少量の水を入れて軽く振り洗いし、排水します。

汚れが落ちにくいときは、薄めた台所用中性洗剤を使用してください。

洗剤が残らないよう、しっかりすすいでください。



■ 保管方法

- 水タンクと本体(水そう部)の水は必ず捨ててください。
- お手入れのあとは各部の水分をよく拭き取り、陰干しをして十分に乾かしてください。湿ったまま保管すると、カビの発生や異臭、故障の原因となります。
- お買い上げ時の箱に入れるか、ポリ袋などで包み、直射日光を避け、湿気の少ない所に保管してください。

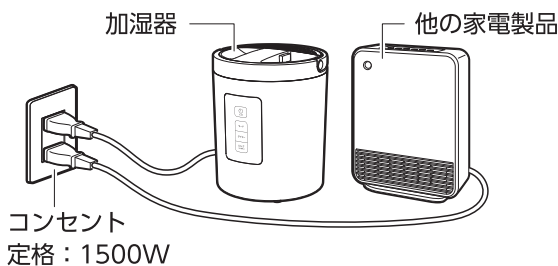
コンセントの点検

●コンセントなどの配線器具には寿命があります。

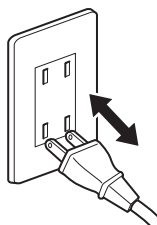
経年劣化、または誤った使いかたにより焼損や火災の原因になる場合があります。

誤った使いかたの例

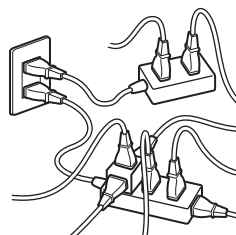
✕ 定格容量いっぱいを使用する



✕ 電源プラグを斜めに抜き差しする



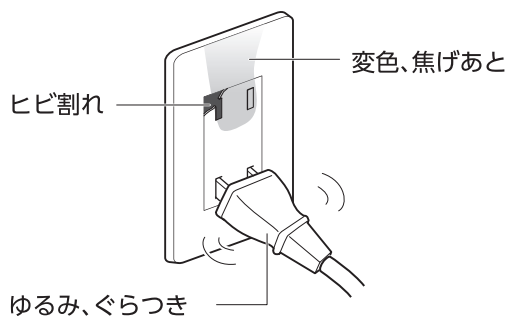
✕ タコ足配線する



●下記のようなコンセントはすぐに交換をしてください。

- ・電源プラグの抜き差しがゆるい。
- ・電源プラグやコンセントが熱い。
- ・表面が変形（ふくれ、ヒビ割れなど）している。
- ・表面が変色、焦げあとがある。

そのまま使い続けると焼損、火災の原因となります。



⚠ 注意



禁止

破損または曲がっている電源プラグを無理矢理コンセントに差し込まないでください。焼損や火災、事故の原因になります。

長年ご使用の製品はよく点検を行ってください。

●このような症状はありませんか？

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードや電源プラグが破損した。
- ・コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・焦げ臭いにおいがする。
- ・その他の異常や故障がある。



このような症状の際は、事故防止のため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店またはスリーアップカスタマーサポートまで点検をご依頼ください。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目の確認をお願いします。

症 状	考えられる原因	対処方法
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグまたはマグネットプラグがはずれているか、ななめになって正しく接続できていない。 チャイルドロックが設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグとマグネットプラグの接続を確認してください。 チャイルドロックの設定を解除してください。
スチームが出ない	<ul style="list-style-type: none"> 運転開始直後である。 ヒーター部が白く汚れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ヒーター部内で水を沸騰させてスチームが発生するまで、約3～6分かかります。 ※使用環境により所要時間は異なります。 「お手入れと保管方法」に従って、定期的にお手入れをしてください。
運転が停止した	<ul style="list-style-type: none"> 水タンクの水がなくなった。 オフタイマーで設定した時間が経過し、停止した。 	<ul style="list-style-type: none"> 水タンクに給水してください。 引き続きご使用になる場合は、『電源』ボタンを押してください。
異臭がする	<ul style="list-style-type: none"> 水タンク、本体(水そう部)、ヒーター部周囲が汚れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「お手入れと保管方法」に従って、定期的にお手入れをしてください。
湿度が上がらない	<ul style="list-style-type: none"> 適用床面積を超えた部屋で使用している。 部屋の窓やドアが開いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 適用床面積内でご使用ください。 窓やドアを閉めてお使いください。
本体の周囲に白い粉が付着する	<ul style="list-style-type: none"> 長期間、同じ場所で使用している。またはお手入れをしないで使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 白い粉はお使いの水道水に含まれるミネラル成分です。(人体に影響はありません。) 「お手入れと保管方法」に従って、定期的にお手入れをしてください。
ヒーター部の周囲に汚れが付着する	<ul style="list-style-type: none"> スケールや水あかが付着している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「お手入れと保管方法」に従って、定期的にお手入れをしてください。
ボタン操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> チャイルドロックが設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> チャイルドロックの設定を解除してください。
水タンクの水が温かい	<ul style="list-style-type: none"> スチームによって水タンクの水が温まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 異常や故障ではありません。お手入れをする際は冷めるまでお待ちください。
スチームが見えない	<ul style="list-style-type: none"> 湿度や温度、背景により見えにくくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> スチームを確認される場合は、背景を黒っぽくしていただくと比較の見えやすくなります。
ハンドルや吹出口カバーに水滴が付着する。	<ul style="list-style-type: none"> スチームが水滴となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 風が当たってスチームの吹出方向が変わると、ハンドルや吹出口カバーにかかり水滴が付着することがあります。 風が当たらないようにするか、設定場所を変更してください。

※ 上記の点検を行っても異常がある場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

※ 当社ホームページにも「よくあるご質問」を掲載しておりますのでご覧ください。